

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道229号 積丹防災	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道余市郡余市町字梅川 至：北海道岩内郡共和町字宮丘	延長	23.5km		
事業概要	一般国道229号は、小樽市を起点として江差町に至る延長287kmの幹線道路である。当該事業は、積丹半島地域において、防災点検要対策箇所及び通行規制区間を解消し、緊急輸送道路の物流・生活道路として機能確保を図る延長23.5kmの防災対策事業である。				
H元年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H2年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	約1,491億円	事業進捗率	92%	供用済延長	21.1Km
計画交通量	800~5,200台/日				
費用便益分析結果 (参考値)	B/C： (事業全体) 1.2 (残事業) 1.4	総費用： (残事業)/事業全体 110/1,647億円 事業費：111/1,650億円 維持管理費：-0.60/-3.0億円	総便益： (残事業)/事業全体 153/1,921億円 走行時間短縮便益：123/1,545億円 走行経費減少便益：25/326億円 交通事故減少便益：4.8/50億円	基準年： 平成20年	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.5 (交通量 +10%)      B/C=1.3 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=1.3 (事業費 +10%)      B/C=1.5 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=1.4 (事業期間+1年)      B/C=1.4 (事業期間-1年)				
事業の効果等	・災害への備え（現道等の防災点検要対策箇所を解消する、事前通行規制区間及び冬期交通障害区間を解消する、道路寸断で孤立化する集落を解消する） 他1項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	効率的な地域間交流網整備として防災対策・交通安全対策を行うことが期待されており、余市町など後志管内20市町村の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成8年2月10日豊浜トンネル岩盤崩落、平成16年9月8日台風により大森大橋落橋				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成2年度より工事着手して、用地進捗率97%、事業進捗率92%となっている。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き用地取得が順調に進めば平成20年代中頃までに全線供用の予定である。				
施設の構造や工法の変更等	鋼管・コンクリート合成構造橋脚の採用、仮設工事の見直しによる工事コストの低減により、コスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。但し、防災事業の性格上、今後は、事業評価の実施を必要としない。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 便益は、被害想定法（災害復旧まで全面通行止めと仮定）における迂回便益で試算したもの。